

サンクチュアリセンターニュースvol.93

平成30年3月号

例年にない厳しい寒波だった今年、沼は長期間にわたり凍結しました。内沼の砂浜にも氷が打ち寄せるほどの寒さでした。鳥たちは冬を乗り切るのに苦労したと思われます。

第12回 伊豆沼・内沼研究集会が開催されました。

伊豆沼・内沼で植物や動物、底質の改善などに取り組んでいる研究者が一堂に会する、第12回伊豆沼・内沼研究集会が、2月17日に開催されました。約30人の参加があり、9題の発表が行われました。

東北大学の藤巻氏、国際航業の門倉氏は、沼の濁りが発生する仕組み、汚濁の低減に関する発表を行いました。また東京大学の張氏は、音響ビデオカメラを使うことで、水中にいる魚の種類を区別しました。濁った泥深い沼では、水中での魚の観察は至難の業ですが、近い将来、陸上にいながら沼の魚を観察できるようになるかもしれません。その他にも、水生甲虫を食べて生活している水草上の蜘蛛に関する研究、外来エビの餌に関する研究、沼に生える食虫植物の餌を調べた研究、ザリガニ防除の取り組みなどが発表され、盛況のうちに終了しました。詳しい内容はHPにおいて公開していますので、関心をお持ちの方はご覧ください。



高解像度音響ビデオカメラを用いた魚類調査について説明する東京大学の張氏



真剣に発表を聴く参加されたみなさん。活発な意見交換が行われました。

野火による一斉清掃にご協力下さい。

伊豆沼第2・第3工区堤防で、漁協、地元土地改良区及び財団による野火（堤防の焼却）を登米・栗原市と共催で実施します。火災と間違えないよう、お願いします。

実施日：3月10日（土）8：00～12：00
（荒天時の場合は下記日程に順延）
※3月17日（土）、3月24日（土）
実施場所：伊豆沼第2・第3工区堤防敷き
（下図参照）



三工区堤防での焼却作業



実施箇所

第59回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン参加者募集！

第59回伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンを下記日程にて開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。

開催日：3月21日（水）春分の日 ※小雨決行
（雨天の場合は3月25日（日）に順延）

集合場所：各3ヶ所のサンクチュアリセンター

開会：8：30（受付8：00～）閉会：10：30

服装は動きやすい身軽なもの、軍手、長靴、火ばさみなどをご持参下さい。

駐車場には限りがございます。出来るだけ乗り合いでお越し下さい。



昨年の様子

伊豆沼・内沼生き物図鑑 ～トビ *Milvus migrans*～

トンビとも呼ばれます。平凡な親がすぐれた子を生むことのとえとして、トンビがタカをうむということわざがあります。なんだかトビをさげすんだ言いようですが、分類学的にはトビはれっきとしたタカの種類です。タカ類の中では大きいほうでカラスより一回り大きく、翼を広げると1.6mにもなります。気流に乗って輪を描きながら飛んでいるところをよく見かけます。



<事務局>

〒989-5504宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217

ホームページ：<http://izunuma.org/>

E-mail：izunuma@circus.ocn.ne.jp